

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう



山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



中同協第48回定時総会

同友会理念の実践で、人が輝く持続可能な社会へ

第19回女性経営者全国交流会

いのちの輝きはぐくむ平和な社会を

8月例会のご案内

山形同友会！
未来へ向けて、
新たに！！
より地域に
必要な存在へ

2016年度スローガン

同友会理念の実践で、 人が輝く持続可能な社会へ



7月14～15日、大阪府大阪市シェラトン都ホテル大阪に於いて、中小企業家同友会全国協議会第48回定時総会が、「同友会理念の実践で、人が輝く持続可能な社会へ」の slogan で開催され、山形同友会からは4名が参加しました。

初日は15の分科会と懇親会、2日目は「持続可能な社会を作り、地域と日本の新しい未来を切り拓く～エネルギーシフトの学習と実践を～」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。参加された方々より報告が届きましたので、ご紹介いたします。

全国の経営指針の成文化と実践運動を共有して

(株)ティスコ運輸 菅原茂秋氏



第48回定時総会が大阪にて開催され、参加した総会、分科会、パネルディスカッションに参加して、感じた内容をご報告申し上げます。

当日は「同友会理念の実践で、人が輝く持続可能な社会へ」の総会テーマのもと1500名近い方が参加。活気あふれるなか、総会議案が提起され、その内容を参加者が代議員という各分科会ごとに審議する形で始まりました。私

が参加した第4分科会では、議案の1章1節、2章2節3節、3章1節と5節を審議し、「経営指針の成文化から実践運動へ」という分科会テーマでパネルディスカッションが行われました。全国各地の同友会の経営指針の成文化、および実践推進のための取り組みと課題を共有することが出来ました。非常に今後の同友会活動と自社の活動に活かせる内容であると感じるとともに、経営指針の実践が全国的課題でもあることが分かりました。

グループ討論では、「1. 経営指針の成文化から実践運動にどうつなげるか？ 2. 指針に『労使見解』が反映されているのか？ 3. 今回新たに刷新される『経営指針成文化と実践の手引き』についての意見」という3つのテーマで意見交換を行いました。まず、実践になぜ繋がらない企業が多いのか？という視点から質問を行ったところ、「経営者のための利己的指針だから示しにくいのでは？」や、「指針を示すことで明るい未来が描き切

れていないのでは？」「社員の成長や労働環境改善の視点が欠けているから社員に話せないのでは？」等々、様々な意見が出されましたが、結局のところ2番目のテーマである労使見解(人を生かす経営)の考え方がしっかりと根付いていないために、「社員とともに歩む全社一丸体制が取れないのでは？」等の問題提起もあり気づきの多い分科会となりました。今後山形同友会の指針作りや実践運動に活かせる内容でした。

翌日は、エネルギーシフトについてのパネルディスカッションが行われ、今後の地域づくりにおいて中小企業が果たすべき役割として、小さなコミュニティでのロスの少ない電力づくりへの可能性と、その行動による仕事づくりや地域再興などへの可能性を感じることが出来ました。総会議案も満場一致で採択され、最後に京

都大学山中教授のお話で、IPS細胞の現時点の効果や、今後の医療が劇的に変わる可能性を感じ胸震わせる2日間となりました。



中同協第48回定時総会に参加して

(株)オネテック 齋藤 源氏



「全国行事は一回行ってみた方がいいよ」「行けばわかる…」先輩方からそんなお話を聞き、今回初めて全国行事に参加させていただきました。大阪で行われた、第48回中同協定時総会です。山形に戻り、「全国行事行ってよかった、是非他の会員の方々にも全国行事を進めたい」と思うほど、充実した2日間でした。

一日目の分科会のグループ討論で驚いたのは、グループ長が同じグループの参加者の企業情報を事前に調べていたことです。グループ長の前段取りにより、限られた時間の中でスムーズな討論となりました。グループ長が参加者の方々を理解する姿勢を持つことが重要だと

感じました。二日目は、中小企業長官など来賓の方々の挨拶に続き、エネルギーシフトのパネルディスカッションが開かれました。エネルギーシフトはなぜ必要なのか、なぜ各地域の中小企業が取り組むべきなのか、エネルギーシフトへの関わり方はどのような形があるのか…理解することができました。機会を見て、山形同友会でもお伝えしていきたいと思えます。

最後になりますが、今回ご一緒させていただいた西塔・菅原両代表理事、矢作事務局長には大変お世話になりました。ありがとうございました。また、折りをみて全国行事に参加したいと思います。



第19回女性経営者全国交流会

6月16～17日、北海道旭川市大雪クリスタルホールに於いて、第19回女性経営者全国交流会が、「いのちの輝きはぐくむ平和な社会を 生活者の視点で未来へつなぐ仕事づくりを」のテーマで開催され、山形同友会からは4名が参加しました。

初日は8の分科会と懇親会、2日目は記念講演として(株)クリエイティブオフィスキュー 代表取締役社長鈴木亜由美氏が、「北の大地に生まれて ～企業理念は『北海道を愛すること』～」と題して講演しました。参加された方々より報告が届きましたので、ご紹介いたします。



第19回 女性経営者全国交流会報告

(株)Hair with Water 赤塚治美氏



「いのちの輝きはぐくむ平和な社会を 生活者の視点で未来へつなぐ仕事づくりを」のテーマで、北海道旭川で女全交が行われました。私の参加した第六分科会は、広島同友会女性部の、女性だけの経営指針作成セミナーを受講した三社の報告発表でした。女性部会100名が4支部に分かれているため、ある時期にまとまって受けるよりも、率先的に女性部が「女性が指針にかかわる機会をつくらう」ということで、立ち上がった指針セミナーでした。社長でなく経営者夫人として、経営幹部として経営指針をつくる、まさに広島魂かとも思える、経営幹部女性としての責任感と覚悟をみせられました。

はじめは経営者夫人の「私も経営者なの？」という問

い。そこから突き詰めていく過程で、自社の実態を知る、経営を知る、実践する、という中でたどり着いた「経営指針に心が震える」という感覚。自律的に、自分事に、会社を愛することは、まるで女性が子を親を愛し関わることに通じると感じました。座長のまとめの中に、女性部の強みは悩み苦しみを共有する場所、経営のみならず子育て・介護・夫婦・人生の全てを、同友会の経験豊富な先輩の知恵をいただいて歩いていくとあり、まさに同じ体験をしていると共感しました。「人を生かす経営」はまず自分を「生かす」。経営者が生き活きといきるからこそ、社員がお客様が、地域が良くなっていくのだと再確認しました。

基調講演の、大泉洋さんのプロダクション社長の鈴木亜由美氏の講演は、予想以上に深いものでした。「北海道を愛すること」が経営理念。自身のセンスでひらめきがどんどん形になって、北海道の強みを全国に展開。映画を作ってしまったたり、理想のバルが出来上がったり、まるで夢物語。でも「東京は北海道の応援団」「上手に利用する」と言い切る強さに、惚れ惚れ。地域に太く根差した幹。こんな経営者が一人二人増えることが、豊かな地方を創るのだと。私も、自社の経営理念の「社会性」(※参

考・経営指針作成の手引き)の一文を、もう一度見直すことを決意しました。

全国研修会に参加する醍醐味の一つは、同友会のカリスマ経営者にお会いできること。今回も広浜幹事長の、同友会に入っている自信を「特別な立場」と自覚するべし。同友会理念を深く知って実践することで、行政への影響力のある集団であることに誇りを持って。幸せなくらじづくりの先頭に立とう！経営指針に基づく経営こそが、「強靱な企業」と「幸せな家庭」のベースとなる。自主民主連帯

の精神で、今後も、率先して同友会活動に取り組み、今年法人化して再スタートを切ったわが社を、心から「良い会社」といえるように歩みたいと想いを深めて帰ってまいりました。また、北海道同友会から400名近い参加者を出しており、その中で男性が半数！ここ数年山形女性部からは私と庄司薫氏の2名でしたが、今回は男性2名を含む4名で参加出来たこと。こちら男性率50%！！10名目標は未達成でしたが、ご参加の男性陣、心よりありがとうございました。

女性経営者全国交流会に参加してin旭川

(株)菓子工房COCOイズミヤ 庄司 薫氏

今回も旭川での2日間、たくさんの学びを得てきました。

参加した分科会は「市場変化への対応」を学ぶ分科会で、「現場から生まれたイノベーション。内なる変化が市場を先取りした！」という題名に魅力を感じ参加を決めました。

報告者は埼玉で保育事業を経営して15年、最初は3人から始めた保育事業が今では社員数270人まで成長した(株)コマームの小松君恵社長でした。

15年前に3人の主婦が3万円を出資して「子育て事業」を起業しました。女性の世代間の働き方はいろいろで、その働き方に応じて仕事を作り、ベビーシッター業から「赤ちゃんとママの交流広場」「保育ルーム」、現在では保育委託業務いわゆる会社内での保育所委託まで事業が拡大しました。コマームには多様な働き方のメニューがあり、年代に合わせた働き方もでき、働く人の多様性を受け入れそれを仕組み化しています。多様性の効果を出した働き方が、会社を成長させた一因のように思いました。保育所不足という時代の波にのったことありますが、自分たちの足元をみて決して無理をしない経営方法を取り、利益の最大化ではなく、社会課題解決型企業を目指し必要に応じて利益を再投資してこられました。消費者ニーズをいち早く察知し市場変化に自社を変革することももちろん大事ですが、一緒に働く社員の生きがいと働きがい、そして家事育児との両立。これが無くては市場変化への対応も全社で取り組むことは難しいと思いま



した。

さらにこの分科会で勉強になったことは、グループ討論でした。

私のグループは4人と少なく、グループ長は札幌の40代の女性でした。グループ長が10分間の休憩中、唯一いる女性社員の話をし「何度言っても花の水を変えようとしなないし、ミスが多いし、こども産んだら休みがち」と悩みを話し始めました。その後討論に入ってもグループ討論は「社員はなぜ花の水を変えようとしなないのか」のテーマで討論は進みました。私を除くメンバー2人は他県の社員共育委員長で、悩めるグループ長をほうっておけずいろんな気付きの言葉を投げかけ、最後はグループ長みずから「自分の自己改革の必要性」に気づきました。先日そのグループ長からお便りをいただき、自分の体当たりを皆さんが受け止めてくれたあたたかさ感謝するとの内容でした。全国大会でのグループ討論は、一期一会のメンバーです。その方達と働

値のある討論ができたことが、この2日間の大きな学びになりました。

2日目の記念講演は、タレントの大泉洋などが所属する芸能プロダクション(株)クリエイティブオフィスキュー代表取締役の鈴木亜由美さんでした。札幌での開業から20年、経営理念は「北海道を愛すること」で

いろいろな事業を展開してきました。全国に北海道の魅力を発信し続けてきましたが、北海道の地域資源を最大限に活かし、ストーリー性を加えての商品づくりには感銘しました。社会性一本での理念経営の素晴らしさを学びました。

女性経営者全国交流会に参加して

寒河江物流(株) 後藤智樹氏

今回女性経営者全国交流会に初めて参加しました。参加した理由は不純で、北海道は札幌には行く機会はあるのですが、旭川には行ったことがなかったので、是非一度は行ってみたいと思い、ちょうどそのきっかけになったからです。前泊で現地入りし、どんなお店があっただんな美味しいものがあるのか街を探索しました。とあるお店で初めて食べて感激したのですが、それは「ほっけのフライ」です。私はこれまでほっけは干物しか食べたことがなかったので、その食感と美味しさにびっくりしました。思わず翌日も訪れてしまいました。それから印象的だったのは、内陸部なのにお寿司屋さんが多いことでした。その中の1軒に入りましたが美味しかったです。

さて、女全交に参加したのはもちろん上記の理由だけではありません。弊社でも現場から事務まで女性社員が増えており、中には管理職に登用したいと思うような優秀な方もいるのですが、そうした組織づくりの在り方や課題等、何かヒントを得られるのではということと、女性経営者の視点から経営について学びたいと思ったからです。

まずは全体で広浜幹事長から女性の力をいかした仕事づくり、地域づくりについて問題提起があった後、各分科会に分かれました。私は市場変化への対応がテーマの第5分科会に参加しました。子育て支援総合サービスを提供している(株)コマームの小松君恵社長の報告で、「現場から生まれたイノベーション」というタイトルです。

ベビーシッター業から始め、赤ちゃんとママの交流広場、保育ルーム、指定管理・業務委託、企業内保育運営と発展していくわけですが、そのきっかけは社員のわがまま

を聞くために仕事を創ってきたとのこと。つまり、世代間の働き方のその多様性や、こんなのがあったらいいな、ということに应运ってきたことが、市場の変化や市場の先取りに繋がったということでした。

私はどうしてもわがままをわがままとしか見ない傾向があるのですが、女性視点、主婦視点から考えると、こんなイノベーションに繋がることを学びました。

翌日の記念講演は全国的に活躍する個性派俳優を擁する芸能プロダクションの鈴木亜由美社長の講演でした。とにかく北海道が好きで、何と企業理念が「北海道を愛すること」。食とコンテンツのプロデューサーとして北海道の魅力を発信し続けているとてもパワフルな方です。産物だけでなく生産者を伝えたり、美味しいものをおいしく料理することで伝えたり、様々な仕掛けを作るのですが、なるほどと思ったのが、「味方につける」、「東京は応援団」、という考え方です。周りの人口減少を嘆いてばかりいるのではなく、やはり行動することが重要だと改めて感じました。それから近くの人から幸せにすることが大切ということ。私は遠くばかりを見ていたかもしれません。もっと身近を見てみます。また参加したいです。



8月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

EnotecA Party (ワインパーティー) ワイングラスから花開く楽しい時間! ワインの世界に聞き耳を…

2016.8.24(水) 受付18:45 開会:19:00

場所: EnotecAエノテカ
山形市香澄町2-1-1 七栄ビル2F ☎023-623-5612

参加費: 6,000円

8月例会は恒例のビアパーティを開催します。今年は嗜好を変え、世の中のブームに乗ってエノテカさんでワインパーティーを行います。ワインの楽しみ方、ワインの基礎知識を店長の小林さんから講演頂き、楽しいワインを飲みましょう。ワインはわからないという人もワインの入口に立つことでいろいろな人たちとの交流の機会も増えることと思います。

ただただワインを飲んで、美味しい料理を食べる時間に、ちょっとした知識を聞くことでワインの美味しさ・楽しさがさらにグンと高まります。

もちろん、ワイン通の皆様も、楽しくワインを飲みましょう。会場の都合上、お早目のお申込みをお願いします。

※店舗様からの提供ワイン以外は各自別清算となります

寒河江支部

同友会が「よくわかる会」 ～新会員オリエンテーション～

2016.8.22(月)19:00～

場所: 寒河江市技術交流プラザ 2F
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

今回の例会は、「新会員オリエンテーション」の位置づけで行います。新会員の方や新会員オリエンテーションに参加したことのない方、同友会を更に知るチャンスです。同友会は会員のみならず「入会してよかった」「同友会に入ってから会社がよくなった」といわれるように、より深く理解していただき、会社の発展のためにお役に立ちたいと考えています。新会員の方は同友会で何を学ぶか・どう活かすかを知り、ベテランの会員の方は更に深めるきっかけになっていただければと思います。また、ゲスト参加も大歓迎、お知り合いの経営者をお誘いあわせのうえ是非ご参加ください。

さくらんぼ支部

若者が働ける地域にしたい ～経営指針・社員共育・共同求人に取り組んで～

2016.8.25(木) 18:30～21:00

場所: タントクルセンター
東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者: ㈱タマツ 代表取締役 玉津弘之氏 (共同求人委員長)

2000年、介護保険の導入で業務が拡大し社員も一挙に増えたが、これからという時に社員が何人も退職。悩んだ玉津社長は同友会に入会後、経営指針書を作成し、社員教育に力を入れながら社員と共に経営指針を実践してきました。そして、新卒採用に取り組み、労働環境を整備しながら会社を変えてきました。現在は山形同友会の共同求人委員長として活動する玉津社長に、地域に若者を残し、地域で育てる共同求人の取り組みと同友会を活用することで、企業づくりにどう生かしてきたのかを報告していただきます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

置賜支部

変化に対応する強い企業をつくるためには

2016.8.23(火) 18:30～21:00

場所: 伝国の社
米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8000

報告者: 税理士法人豊 代表社員 土田一成氏 (税理士)

社会・経済が激しく変化しています。地域では少子高齢化・人口減少・採用難が大きな課題となっている今、中小企業を取り巻く経営環境はますます厳しく、今後も先の見えない状況が続いています。

8月例会では土田一成税理士を講師に迎えて、強い財務体質にするためのポイントをお話いただけます。先行き不透明だからこそ、今後に備えて取り組むべき課題を掴みましょう。

明日を創るためにお誘い合わせの上、ご参加ください。

庄内支部

納涼ビアパーティー ～同友会をより良く知ろう!～

2016.8.26(金)18:30～

場所: 魚亭 岡ざき
鶴岡市美咲町2-46 ☎0235-25-0086

報告者: ㈲成澤鉄工所 代表取締役 成澤克志氏
参加費: 4,000円

夏と言えばビアパーティー!!ということで、今年も恒例のビアパーティーを開催致します。

今回のビアパーティーは、「新会員オリエンテーション」の位置づけで行います。新会員や新会員オリエンテーションに参加したことのない方、そしてゲストの方も同友会を更に知るチャンスです。新会員は同友会で何を学ぶか・どう活かすかを知り、ベテランの会員は基本に立ち返っていただければと思います。その後はビアパーティーということで、庄内支部会員の「魚亭 岡ざき」の新鮮な魚介に舌鼓を打ちながら、通常の例会では聞けない・話せないことなどを、ざっくばらんに語り合います。ゲスト参加も大歓迎、お知り合いの経営者をお誘いあわせのうえ是非ご参加ください。

新庄最上支部

2016年度上半期反省会&ビアパーティー!

2016.9.2(金)18:30～21:00

場所: 厨ダイニング
新庄市若葉町7-6 ☎0233-23-7417

参加費: 4,000円

2016年度も半分が過ぎようとしています。暑い夏、そして熱い新庄祭りも終えて一息、ビアパーティーでクールダウンしましょう。新庄最上支部ビアパーティーでは、通常例会では聞けないこと・話せないことなどをざっくばらんに語り合い、会員同士のつながりを深めます。

また、今年度の上半期のはどうだったか?また、自社企業だけではなく、地域をどうやって発展していくか?などの夢のあるビジョンも語り合います。尚、お知り合いの経営者をお誘いあわせのうえ是非ご参加ください。

第3回理事会報告

◆日時:2016年7月13日(水)午後3時～午後5時 ◆会場:山形県産業創造支援センター ◆議長:齋藤専務理事
 ◆出席者(敬称略):西塔秀幸、越前屋忍、齋藤志直、阿部和人、小林敏郎、白鳥明美、阿部秀頭、武内賢二、赤塚治美、
 齊加義三、小川大輔、柴田慶一、佐藤松雄(事務局)矢作聖子、高橋徹、後藤駿 16名出席

■開会挨拶

西塔代表理事が「参加者が少ないのは寂しい。7月に入り1年では半分、年度では4分の1が終わり、会員も減っており、こういう状態を脱するためにも今日の討議をお願いします」と述べました。

■経営体験報告

報告者:社会保険労務士法人西塔事務所 代表社員 西塔秀幸氏
 (1988年入会)

座長:齋藤志直氏

*次回報告者(敬称略)

月	報告者
8月	高橋 明氏
9月	齊加 義三氏

■報告事項

- 2016中同協・中小企業憲章・条例推進月間キックオフ集会・拡大憲章・条例推進本部会議(6/7)
 閣議決定となった中小企業憲章を法律にする運動をしている。県・市町村では振興条例をつくる運動をしている。毎年1回、国会の議員会館に於いて開催し、今年で4回目になるが、年々大きくなり、今年は300人が集まった。参議院選挙があり議員は昨年より少なかった。商工会など他団体も参加して発言するが、内容では中小企業憲章に関する姿勢がどんどん変わり、協力できる体制ができたと思う。中小企業庁長官も前任の方は非常に中小企業に対して理解のある方だったが、今回の方も自ら資料を準備してくれて良かった。(西塔代表理事)
- 中同協第5回幹事会(6/8)
 今回の総会は代議員制をとることになっている。山形にも10人の割り当てがあったが事務局を除いて3人参加。他流試合は大切なので、ぜひ皆さんにも参加していただきたい。山形でもネット会議を検討しているが情報化推進委員会でも検討している。(西塔代表理事)
- 山形労働局「高校生の就職に関する件」(6/8)
 労働局長をはじめ5人が来局した。新規学卒者の求人書類の早期提出のお願いという文書を持参していただいた。(越前屋副代表理事)
- 第7回きらやか銀行経営者セミナー
 きらやか銀行の同友会への期待が大きい。橋本徹氏の講演は参加者が多く天童文化会館にて行われた。銀行側ではしっかり案内をつけていただき、紹介され壇上に上げていただいた。我々も期待に応えられる活動の必要性を感じた。(西塔代表理事)
- 第19回女性経営者全国交流会(6/16,17)
 旭川で開かれ8つの分科会が行われた。女性部の全国交流会は会社に直結した介護離職の問題、ワークライフバランス、メンタルヘルスなど、今取り組まなければならないことが取り上げられている。広浜幹事長より「同友会では人を活かす経営というのが、そろそろ人が生きるにはどうか。活かすと生きるとの違いを日々の経営の中で考えながら答えを実践していこう」「強靱な企業というのは経営の勉強だけではだめ。一番身近な人を大切に。それができれば会社を愛し、地域を愛することへ広がっていくのではないか」等の問題提起がありました。記念講演では北海道を愛するという社会性一本の経営理念で、自分が北海道を好きだけで終わっていないかということから始まり、取り組みの中から日本中に広がっていったお話から私の経営理念にも愛する山形と入っているが、もう一度振り返って取り組む必要を感じた。今回10名の目標に対し4名の参加となったが、来年は数字目標の達成に向けてしっかりと取り組んでいく。(赤塚理事)
- 2016年度6月度月次決算報告(矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 9名退会 7/13現在434名

■討議事項

議題1:役員研修会について

小川理事より現在参加者が18名ということが報告され、各支部・委員会で参加呼びかけをしていくことになりました。次に講義とグループ討

論を二回行うタイムスケジュールとグループ討論テーマが提案され、承認されました。

●グループ討論テーマ

- 1回目 自分と会社をどう変えていきますか?
- 2回目 同友会理念を広めることで、この地域がどう変わるのか?

議題2:中期ビジョン委員会について

西塔代表理事より提案があり、下記のメンバーが委員となり、毎月第1水曜日の常任理事会後の午後5時より開かれることが決まりました。

中期ビジョン委員

西塔秀幸	菅原茂秋	後藤智樹	越前屋忍	齋藤志直	
菊池幸生	阿部和人	玉津弘之	赤塚治美	齊加義三	
阿部秀頭	阿部 敦	武内賢二	長澤 武	工藤規行	柴田慶一

議題3:理事会の運営について

西塔代表理事が提案し、下記のことが決まりました。

- ・理事の体験報告を開会后、30分行う。
- ・議事のスムーズな運営のため、議題に対する質問や意見は前もって事務局まで挙げる。

議題4:組織委員会より

武内理事より組織委員会で現在同友会のパンフレット作成を9月末に完成する予定で進めていると報告があり、各支部長・各委員長に8月24日までに原稿をお願いしたいと依頼がありました。

西塔代表理事からは、きらやか銀行に同友会の案内チラシを置いてもらう許可をいただいた際にポスターを貼る提案もいただいたと報告がありました。ポスターに関しては組織委員会にて検討することになりました。

議題5:事務局の件

西塔代表理事が、3月21日より事務局で働いている事務局員の後藤さんと短時間事務局員の石山さんは仕事もつつがなくやっていたことから試用期間満了で正規社員にすることが提案され、承認されました。また、事務局の夏季賞与との支給が提案され、承認されました。

■その他

1)今後の行事予定

中同協第48回定時総会	7月14日(木)～15日(金) 大阪	西塔・菅原・齋藤・矢作参加
2016年度全国事務局員研修基礎コース	7月20日(水)～22日(金) 愛知	事務局後藤参加
幹事社員研修 第1講	7月20日(水)18:00 山形ビッグウイング	東京同友会社員教育委員会参加
中小企業憲章・条例学習会	7月26日(火)13:30 山形ビッグウイング	講師:慶應義塾大学教授 植田浩史氏
2016組織強化・広報・情報化全国交流会	8月25日(木)～26日(金) 東京大田区産業プラザP10	
北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会	8月30日(火)～31日(水) 岩手県陸前高田市	
中同協・女性部連絡会	9月6日(火) 東京	
中同協・経営労働委員会	9月8日(木)～9日(金) 東京	
中同協・社員教育委員会	9月8日(木)～9日(金) 東京	
共同求人委員会合同会議	9月15日(木)～16日(金)	阿部委員長出席
第44回青年経営者全国交流会	石川県金沢市	玉津委員長出席
幹事社員研修 第2講	9月21日(水)18:00 山形ビッグウイング	

2)第4回理事会日程

●日時:8月10日(水)午後3時～午後5時

●会場:山形県産業創造支援センター

9月14日(水)15:00～17:00	山形ビッグウイング
10月12日(水)15:00～17:00	山形ビッグウイング
11月 9日(水)15:00～17:00	山形県産業創造支援センター
12月14日(水)15:00～17:00	山形県産業創造支援センター

■閉会挨拶(越前屋副代表理事)

役職変更

●ヴィクトリィ・オート(株)営業課長 齋藤 晃氏(庄内支部)
 ⇒常務取締役に變更

●さとう農園(株)専務取締役 佐藤卓弥氏(山形支部)
 ⇒代表取締役社長に變更

同友やまがた8月号(2016年8月1日発行/通巻281号)

From Editor



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
 TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
 URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp